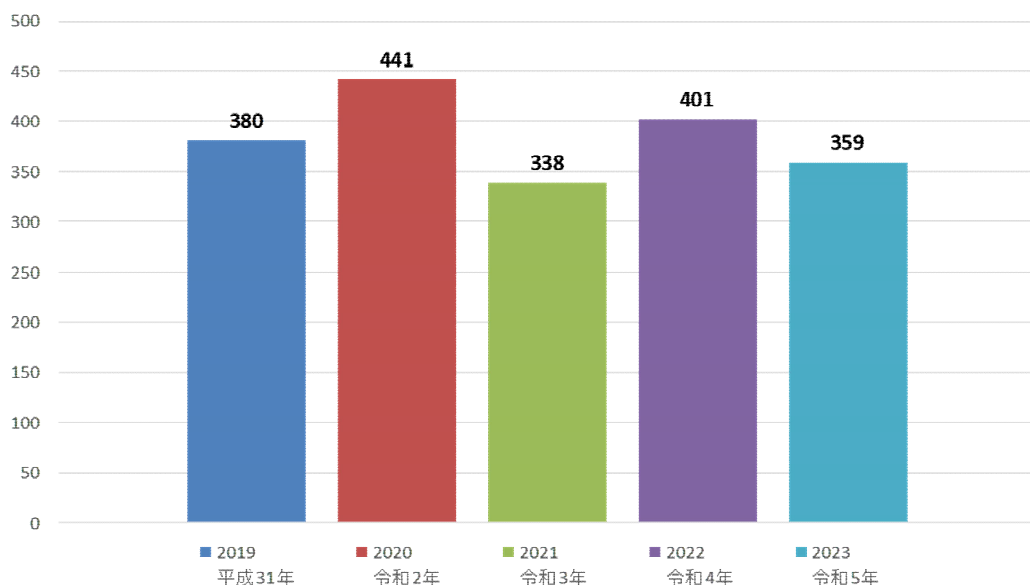


## 令和5年度の相談概要

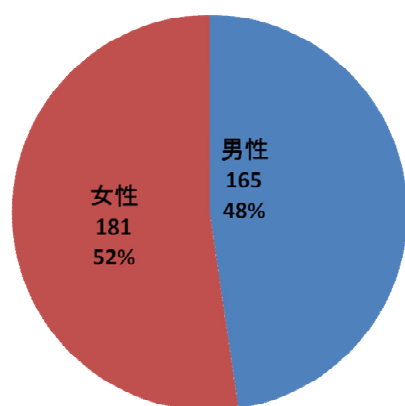
### ◆年度別相談総件数の推移



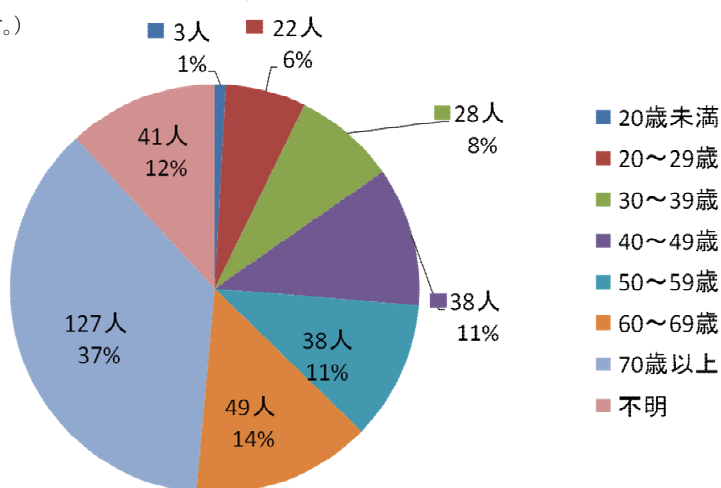
### ◆2023年度(令和5年度)の相談状況

#### 《男女別相談状況》

(※件数には団体が4件、年齢・性別不明が9件含まれます。)



#### 《年齢別相談状況》



#### 《傾向と特徴》

令和5年度の相談件数は、359件（令和4年度 401件）、前年対比90%で42件の減であった。年齢別では60歳代49人（14%）70歳以上127人（37%）で全体の半数程を占めている。依然として、高齢者の消費者トラブルが多いことがうかがえる。

近年では、若者を中心とする「副業・投資に関する相談」が目立った。また、昨年度に引き続き「架空請求に関する相談」、「化粧品（定期購入等）に関するトラブル」、「還付金に関するトラブル」が依然として見受けられた。

## 《相談項目の上位》

### ① 商品一般に関する相談

架空請求、不審なメール、クレジットカードの不正利用など

### ② 金融・保険サービスに関する相談

副業・投資に関するトラブル、保険の契約に関するトラブル、多重債務など

### ③ 保健衛生品に関する相談

化粧品（定期購入等）に関するトラブルなど

### ④ 教養娯楽品に関する相談

新聞購読契約に関するトラブルなど

### ⑤ 保健・福祉サービスに関する相談

還付金、訪問販売（高圧洗浄）に関するトラブルなど